



港区新橋5-15-5  
国鉄労働組合中央本部  
電話 5133-1643  
編集長 高橋伸二  
副編集長 濱中保彦  
編集主任 中野隆夫  
(組合員のみに発行)

9・24 日航が産業再生法適用を国交相に要請。  
9・28 ニ崎脱線事故報告書漏えい問題で、国交相がJR西日本佐々木社長に中立性損なう「背信行為」と指摘し、事実関係の調査と改善策報告を命令。  
9・29 台風16号によるフィリピンへの豪雨被害、死者246人、行方不明者38人と発表。南太平洋サモア近海でM8.0地震。  
9・30 インドネシア・スマトラ島沖でM7.6地震。4日同国赤十字、死者2000人超と発表。  
10・1 07年参院選の「票格差」訴訟で、最高裁が上告棄却するも選挙制度の抜本的な見直しを指摘。  
10・6 IEA、中国のCO<sub>2</sub>排出量07年に米国上回り世界一と公表。

# 交渉テーブル設置を

## 機構・国交省に申し入れ

### 機構前では座り込み



10月1～2日、鉄道・運輸機構前で行った交渉テーブル設置を求める座り込み



役員選挙で新議長に選出されてあいさつする奥村博さん

「4者・4団体」は、10月1～2日、横浜の鉄道・運輸機構前で上京闘争団を中心に座り込みを行ってJR不採用問題の早期解決を求めるとも、1日に鉄道・運輸機構、2日に国土交通省への申し入れを行い、解決交渉テーブルの設置を求めた。

明確な態度表明を  
10月1日の鉄道・運輸機構への申し入れ事項は、①政治解決をはかるという明確な態度を表明すること、②政治解決・裁判上の和解に向けての環境整備をはかるため、監督官庁である国土交通省に対して、その趣意にもとづき要請すること。同時に、話し合いのテーブルを設置し、早急に関係当事者間の協議を開始すること――の2点。

これに対して鉄道・運輸機構は「新政権が発足したが、現段階では機構の立場は従来通り」との2点を申し入れた。

和解除に向け指導を  
2日、国土交通省への申し入れでは、新内閣となったことを受けて、①歴代の国土交通大臣発言に対する国土交通省の考え方を明らかにして、政治解決への態度を明確にする。②監督官庁として、鉄道・運輸機構に対し、政治解決・裁判上の和解に向けて早急に関係当事者間の協議を開始するよう指導すること――の2点を申し入れた。

国土交通省は「省として、機構と貴側が裁判中なので裁判の行方を見守っていく」ということで、変わったことではなくこれまで通りである」と答えた。これに対して「4者・4団体」は、「政治の場

と変わりはしない。解雇した当事者なので、他の所に働きかけをするということは矛盾するものと考えている。しかし、早期に解決できたなら良いという気持ちは変わらない」と答えた。

国土交通省は「省として、機構と貴側が裁判中なので裁判の行方を見守っていく」ということで、変わったことではなくこれまで通りである」と答えた。これに対して「4者・4団体」は、「政治の場

面では今までと違う状況になっている。申し入れは大まかに到達するように上部に報告された」と再度申し入れ、省側は「今日の申し入れについては、上部に報告する」と答えた。

国土交通省は「省として、機構と貴側が裁判中なので裁判の行方を見守っていく」ということで、変わったことではなくこれまで通りである」と答えた。これに対して「4者・4団体」は、「政治の場

面では今までと違う状況になっている。申し入れは大まかに到達するように上部に報告された」と再度申し入れ、省側は「今日の申し入れについては、上部に報告する」と答えた。

## 重大な法令遵守違反

### JR西日本情報漏えい問題

3組合が声明

JR福知山線事故に関する国土交通省・事故最終報告書の情報漏えい問題について、国労西日本本部とJR西労組、建交労西日本鉄道本部の三組合は9月29日、連名の声明を出した。経営幹部による一連の行為について「重大なコンプライアンス違反」と指摘したうえで、経営陣自らがはじめをつけること、安全・信頼回復に向けた再出発可能な体制構築を求めた。

JR西日本の山崎前社長が、事故調査委員会の元委員と個別に接触し、報告書内容を公表前に聞きだしていたことが発覚。内容の一部について削除を求めていた事実も判明した。その後当時は福知山線列車事故対策審議室長の土屋現副社長が事故調査委員会の事前情報収集を部下に指示していたことも明らかになった。こうした行為について、三組合声明は「重大なコンプライアンス違反」と厳しく批判した。

## 将来見据え組織拡大へ 新議長に奥村博さん選出

全国貨物協議会は、9月27日、第24回定期委員会を静岡県熱海市で開き、①新たな情勢の下でのJR不採用事件の早期解決、②貨物和解の到達点を現場段階で履行させる闘いの強化、③安全輸送確立・労働条件改善要求の前進、④組織強化・拡大――に全力で取り組む活動方針を決定した。役員改選では、新たに奥村博議長(東京)、真田敏幸事務次長(東京)を選出した。

「貨物会社が抱える情勢を踏まえ、安全輸送の確保と労働条件改善への道筋をどう作り出すのか、そのためには職場からの運動が不可欠。また、一括和解の到達点を踏まえ、将来を見据えた本格的な組織拡大の実践に向けて、しっかりと意思統一を図ることが重要だ」と訴えた。

今後の課題として、JR内の非正規雇用問題、規制緩和問題についても取り組みを強化したい。また、貨物一括和解の履行を重視し、問題を放置せず前進を図る」と述べた。

「強者」はしっかりと儲けている構図もはっきりしている。政権交代をした連立政権は、登録型派遣や製造業派遣の原則禁止、「直接雇用みなし制度」の創設などで政策合意している▼9月30日には、所属する上部団体の枠を超えてつくる「労働者派遣法の抜本改正を求める共同行動」の院内集会が開かれ、民主・社民・共産・公明の国会議員に抜本改正を求めた。一刻も早くこれを現実させたい。(栗)

星野議長はあいさつで、

星野議長はあいさつで、

星野議長はあいさつで、

星野議長はあいさつで、



年収400万円以下と2500万円超の高所得者がいずれも増加し格差社会が一層進行しているという。

星野議長はあいさつで、

# 心身とも疲労困憊

## 運転連絡会の調査報告

運輸・検修職場

運輸協議会全国連絡会は、第8回全国運転職場交流会を9月27～28日に兵庫県神戸市で開き、貨物を含む全国7エリアから80人が参加した。交流会にむけて連絡会は、運転士・検修社員および車両検査体制の実態のアンケート調査を行った。交流会では、その結果をどのような運動にむすびつけていくかを議論した。

アンケートのサンプル対象は、全国7エリア・30職場・60人(運転士36人、検修24人)。調査内容は、運転士が拘束時間・体調面・指令員関係、検修が検査内容・業務委託化の度合等。

運転士の拘束時間調査で泊り勤務最長拘束時間がもっとも長かったのは、金沢列車区の26時間。23時間以上が12職場・3%となった。

その労働時間で体調面を調査したところ、早出勤・泊り勤務が続くと、「眼の疲れ・腰痛・肩こり・だるさ・頭痛

「政策立案から実現へ! 安全・安心、人と環境にやさしい輸送サービスを確立しよう!」——交運労協の第25回定期総会が10月5日、都内・全日通霞が関ビルで開かれ、2010年度活動方針を満場一致で決めた。役員改選では、渡辺幸一議長(私鉄総連)、関政治事務局長(運輸労連)を再選した。来賓にはITF本部コックピット書記長、連合高木剛会長、国土交通省辻元清美副大臣、厚生労働省細川律夫副大臣、交運労協議員懇談会メンバーの赤松広隆農林水産大臣、伴野豊衆議院議員が出席した。

# 政策立案から実現へ

## 交運労協第25回定期総会 ITF東京事務所存続を

総会あいさつで渡辺幸一議長は、「民主連立政権が誕生した。今後は、要求提案のみに留まらず一歩踏み込んだ方針を提案し、働く者が主人公の社会作りに向けて取り組みを強化したい。また、高速道路料金無料化政策に対しては、交通全体が打撃を受けることや交通体系そのものを破壊しかねないことから慎重な取り組みをお願いしたい。政権を支える立場から積極的に支援を行っていく」と強調。

ITF本部のコックピット書記長は、「米国金融危機に伴う経済不況は交通運輸部門にも大きく影響を及ぼしている。ITFはビッツパーク宣言を支持し、所得の平等を求めるとともに市場主義がもたらす災いを終わらせるため

・憂鬱感・寝不足・集中力欠如等」何らかの不調を訴える乗務員は全体で97.2%にものぼった。

次にさまざまな理由で「ダイヤが乱れが生じた際の列車指令員についての質問では、通告券関係指令の何らかのミス指令が全体で38.8%になり、事例をあげると「閉そく指示・運転の信号機番号違い」「担当列車以外の通告券指示」「雨規制失念での途中からの徐行指示」「下り着線をしたぎ線と通告」等のミスが多数あった。無線機では不通・聞き取りにくい指摘する人が86.1%となった。

検査関係では、交番検査・仕業検査周期や部品交換期日の相違。部品摩耗状態では、「油漏れ多数」「入場から入場まで車輪がもたない」「仕業での部品交換」「制輪子・パン板が交番までもたない」等があげられている。

この結果から、運転士は長時間労働と要員不足で心身とも疲労困憊状態であり、異常時には指令員のミス通告があり不安で信用度が低下しつつあること。検修でも安全車両提供がされていないで検査周期短縮と早期部品交換が必要との見方が明らかになった。(運輸連絡会事務局長・岡野)



# 温もり

鉄道沿線30年  
山上敏夫・元大船工場

ネパール南部、インドとの国境近くにジャナカプールという村がある。小さな鉄道があって、かわいいSLが走っていた。1992年当時のことだ。2009年の今は、ディーゼルに替わってしまひ、さびしくなった。

ジャナカプールに行くには、カトマンズ空港からバスで5時間もかかる。小さな村や集落が点在する急な山道を、右に左に曲がりくねって行かなくてはならない。ガードレールもない狭い道の下は、100メートルもある谷だ。その工程の途中、山あいの棚田をみつけ、バスの窓から撮った写真で、山里の生活の温もりを感じ、ホッとしたい出がよみがえってきた。

# エリア・地本新役員紹介②

## エリア本部

### 北海道本部

執行委員長 齋藤英二(総括、共闘、退職者の会、交運共済)▽執行副委員長 多田勝(組織、調査、共闘、野中司(交渉総括、業務、協約・協定、賃金)▽書記長 手代木昭彦(企画全般、統制、法対、共闘、交渉、家族会、組織総括、議員団)▽執行委員長 藤義明(総務、財務)石島政博(組織部長)島見佳法(教宣部長)増輪勝康(福対部長、組織)▽特別



### 東日本本部

執行委員長 高野苗実(総括、総務、政治共闘、国労議員団、会館、交運労協、家族会、会社別協議会)▽執行副委員長 佐藤正幸(財政部、組織担当)▽書記長 松井正義(企画兼業務部長、全労連)▽執行副委員長 井正義(企画兼業務部長、全労連)▽書記長 中保彦、鈴木郁夫、小池敏哉、星野高志、栗原洋実▽会計監査員 松本正吉、高橋亮一、東平賢一▽書記 松本久、中台信夫、福地一郎。

### 地方本部

#### 北陸地本

執行委員長 中村一彦(総括、総務、国労会館、交運共済、退職者)▽執行副委員長 南昭義(法対部長、組織、

#### 米子地本

執行委員長 小村宗一(総括、政治部長、総務部長)▽執行副委員長 三嶋千寿(組織部長、法対部長、企画補

# 春夏秋冬

別執行委員長 平田正男(貨物担当)木村忠義(青年部対策)▽特別執行委員長 運輸協議会・運輸協議会・工務協議会・工作協議会・電気協議会の各議長▽特別執行委員長(本部役員) 高橋伸二、濱野能章(企画部長、政治部長)▽執行委員長 中江巧(賃金・共闘・法対)▽執行委員長 大巻道明(教宣部長、調査部長)▽執行委員長 山口雅幸(財政部長、業務・物販)後藤通広(業務部長、教宣)▽執行委員長 倉秀介(業務)岡山幸司(業務)▽特別執行委員長 戸健治(西日本本部副委員長)▽会計監査員 古市勝美、中原昭彦、今岡明▽書記 前沖由美子【執行委員全員が組織対策担当】